

わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ <http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

地域の commons となることを目指して 荻窪地域区民センター協議会会長 茂木愛一郎



4月から会長をお引き受けする茂木と申します。新型コロナウイルス感染症が猛威をふるうなか、ひととひとの繋がりを大切にすいつもの活動が難しく、この1年活動の縮小を余儀なくされてきました。翻って、「持続可能性」の維持が社会の目標になっている今、地域にあっては、「私」でも「公」でもない、知識の共有をもとに「共」に繋がる commons をもつことが非常に重要になってきているのではないのでしょうか。協議会ではこれまで「まつり」、「イベント」、「展示」、「講座」、「懇談会」などを通じ、住民のみなさんの参加の受け皿づくりをやってきました。新年度は、安全を重視しながらも工夫をして、魅力的なプログラムを展開し、ポスト・コロナを見据えてネットワーク型 commons の核になりたいと考えております。地域のみなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

2021年度に予定する主な行事・イベント・講座など

★コロナ禍のため2020年度は中止・延期が続出しました。2021年度は順調に開催できることを願っています。

※写真は過去の開催事例です。



センター祭/集会所まつり



防災フォーラム



コンサート



荻窪の歴史散歩



地域懇談会



教養講座



演芸



ファミリー・キッズ向け企画

これからのスケジュール

4月

●17日・24日・5月1日・8日

「初心者のための俳句教室」

「自分の一句を残しましょう」

講師：野崎海幸

(俳人協会会員、澤井旬会同人)

●21日 定期総会

「感謝状贈呈式(2期)」

5月

●14日・21日

「正しく学ぼう！ラジオ体操」

講師：針立和子

(全国ラジオ体操連盟公認一級指導士)

●25日 広報紙「わたしのおぎくぼ」

No.351 6月・7月号発行

6月

●12日・13日 第43回アート展

7月

●10日 「こみゆに亭カフェ」第2弾

●13日 広報紙「わたしのおぎくぼ」

No.352 8月・9月号発行

8月

●4日・11日・18日・25日

「ハーモニを楽しむヴォイストレーニング」

講師：安藤操

(ヴォイストレーナー)

※イベント講座等に変更になることもあります。

※会場が明記されていないものは全て、会場は

荻窪地域区民センターです。

※問い合わせ先：●事業企画部 ●地域交流部

●広報部 ●総務部



一人一人が輝く学校を目指す 杉並区立神明中学校



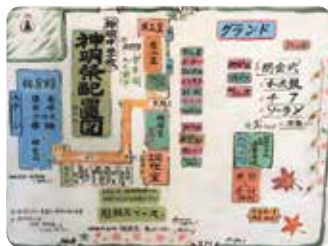
このシリーズの第6回は、神明中学校の山内清一校長先生からお話を伺いました。

★概要

神明中学校（以下「神明中」）は1947年（昭和22年）に区立下荻中学校として桃井第二小学校内に設置されたが、翌年には神明中と改称され現在の校地に移っています。今年度は開校して74年目を迎え、校訓である「自主・自律」を目指すことと、教育目標である「創造・鍛錬・共生」（校訓と合わせて「神明ファイブ」）をもとに教育がなされています。在籍する生徒数は289名（2021年1月1日現在）、9学級からなっています。緑豊かな森に囲まれた天祖神社に隣接し、静かな住宅地に立地しています。学区の保護者は教育に熱心な方が多いうえ、町会・自治会を中心に地域の方々の学校への協力が積極的な環境にあります。今回の取材、新型コロナウイルス感染症拡大によって学校運営でご苦労なされている最中に、快く受けてくださいました。

★学校の特徴

神明中には、学業面のみならずスポーツや芸術面で優れた成果を上げてきた伝統があります。「スポーツの神明」、「勉強の神明」（数学・英語で少人数授業を実施）、「行事の神明」と呼ばれる所以です。そして目指す学校像に「一人一人が輝く学校」をあげていますが、生徒、保護者、地域、教職員のすべての人々が生き生きと活動し、信頼され、信頼できる学校となることを目指しています。この背景に長い間学校を支えてきた学校支援本部の活動があります。行事支援のみならず、『神明塾』、『サタスタ』では地元の専門家やボランティアがチューターになって役割を担っています。また学校のコミュニティスクール（CS）化の一環として2016年から学校運営協議会が立ち上がり、学校経営全般で神明中を支えています。



「神明祭」の案内図



生徒会活動の様子

★具体的な教育活動

特色ある教育活動として以下の6点をあげています。

- ①生徒会活動の充実（固有の活動に加え、関係小学校へのPR、働きかけ、ホームページへの活動掲載、ボランティア活動など）
- ②学校行事では体育大会（今年度も規模縮小・内容精選で実施）、文化発表会と地域文化行事としての『神明祭』（質の高い中学生による文化の創造、活発化寄与）の実施。また今年度もコロナ禍の下ですが、3年生の修学旅行は注意深く行われました。
- ③チューターによる授業支援と学習支援（『神明塾』、『サタスタ』（土曜日の補修活動））
- ④食育、環境教育、人権教育、ボランティア活動
- ⑤学校支援本部と連携した『神明クラブ』の運営
- ⑥高井戸第四小学校と連携した系統性・連続性のある取組（学習の連続性、サミット・遊びのフェスタ、中学校体験など）



体育大会の風景



修学旅行にて

★山内校長の思い

山内校長によれば、第1に「自主、自律の神明」といわれるほど校訓は、卒業生のなかに定着している。生徒たちが成長したとき「自分で考え、自分の意思で決定し、自分で責任をもつ」ための指針となっており、この伝統を引き継いでいきたい。3年生には2学期末に個別面接を行っているとのこと、自らの成長ぶりを客観的に語れる生徒がでてくるなど、校訓・教育目標が生かされているのを感じるとのことです。2番目は地域とともにある学校を作っていきたい。学校支援本部、学校運営協議会、町内会、保護者から多くの支援を受けているが、今後とも学校教育のなかに融合させていきたいと山内校長はおっしゃっていました。

杉並区立神明中学校

住所:167-0052 東京都杉並区南荻窪2-37-28 電話:03-3333-7428
ホームページ:www.suginami-school.ed.jp/shinmeichu/

講座紹介

初心者のための俳句教室 ～自分の一句をのこしましょう～



本講座は昨年2月に開催され、コロナ対策のため途中終了した講座ですが、受講者から素晴らしい講座だったと好評につき、本年度も同講座を開講します。野崎講師は俳句のみならず、朗読など多彩な活動をされています。本講座は俳句を始めたい方が対象です。

★日時:令和3年4月17日・24日・5月1日・8日 各土曜日(4回)午後1時30分～3時30分
★定員:20名 ★場所:荻窪地域区民センター ★講師:野崎海芋(俳人協会会員・澤俳句会同人)

※受講を希望する方は、本紙P4の「講座などのご案内」を読んでお申し込みください。



前回の同講座の風景
(於:角川詩歌館)

前号では、天沼に住んでいた徳川夢声と中央線の汽笛にまつわるちょっと苦い思い出を紹介しましたが、蒸気や空気によって音を出す汽笛には、記憶や懐かしさを刺激する特別な力があるようです。そこで、今回は、「咽び泣くような」ともいわれる船の汽笛について書いてみたいと思います。個人的な話で恐縮ですが、子供の頃に四谷の町で聞いた汽笛を思い出したからです。

それは、たまたま手にとった雑誌で、「四谷の上空より東京湾を望む」という空撮写真を眺めていたときのことでした。写真の中央には赤坂離宮の緑が広がり、その先に虎ノ門や新橋の超高層ビルが林立していますが、そのビルとビルの間で光っているのは海。四谷と東京湾はこんなに近かったのかと、改めて気づいた瞬間、「ポオーッ」という懐かしい汽笛の音が脳裏に蘇ってきたのです。昭和20年代から30年代のはじめにかけては、都心でもビルはまだまばらで、音の伝播を妨げるものが少なかったからでしょう。霧の出た朝などは、四谷でも東京湾の船が鳴らす汽笛がよく聞えたのです。

当時、ラジオから繰り返し聞えてきた歌に『上海帰りのリル』がありました。もちろん、子供には上海がどこあるかもわかりません。それでも、謎めいた女性のイメージと、町を覆う霧、むせび泣くような汽笛とが重なって、子供心にも旅情をかきたてられたことを覚えています。

ところで、そんな船の汽笛が荻窪でも聞えたといったら、みなさんは信じるでしょうか。井伏鱒二は、『荻窪風土記』の冒頭で、こんな古老の話を紹介しています。

「弥次郎さんの話では、関東大震災前には、品川の岸壁を出る汽船の汽笛が荻窪まで聞えてみた。ポオーッ……と遠音で聞え、木精（こだま）は抜きで、ポオーッ……とまた二つ目が聞えてみた。（略）荻窪から品川の岸壁まで、直線距離にして四里内外である。汽笛の音の伝播を妨げるものは、当時としては武蔵野の名残をとどめるクヌギ林のほか、ケヤキの大木、ヒノキの森、スギの密林ぐらゐのものだろう」

まるで、東京湾の西に広がる武蔵野台地を「鳥の目」で俯瞰しているような気分になりますが、これも、空気の振動によって伝わる汽笛を通した空間把握のなせる業でしょう。

寝静まった夜中に聞こえる夜汽車の音、除夜の鐘、豆腐屋の喇叭、ラーメン屋のチャルメラ……。懐かしい音たちは、いったい、どこに行ったのでしょうか。

「荻窪の記憶」プロジェクト 松井和男



開催報告

講座 コロナ後の持続可能な世界に向けて

1月24日(日)、文教大学国際学部教授の林薫氏をお招きして、SDGsをキーワードに、持続可能な世界に向かうためにはどうしたらよいかというテーマで講演をしていただきました。SDGs(Sustainable Development Goals)は持続可能な開発に向けた17の目標ですが、世界が新型コロナウイルス禍で苦しむ中、SDGsの達成に向けて世界はどのように動いていくのか、国際開発ネットワーク(GDN)の発足に当初から関わり、現在SDGsの研究に携わる林氏から、ご自身の活動を踏まえて解説をいただきました。会場には関心の高い参加者を中心に集まり、Q&Aセッションも盛り上がりしました。



講師:林薫氏

レクチャー風景

はじめましてクラシック ～オペラへの誘い～

●東京文化会館 ミュージック・ワークショップ in 荻窪

新年になって1月31日(日)、荻窪地域区民センターがミニオペラ座になりました。東京文化会館の事業展開のひとつで、日本各地のオペラ公演で活躍する、ソプラノの清水理恵さん、バリトンの高橋洋介さん、ピアノ伴奏の原田園美さんが出演の演奏会が開かれました。全体のナビゲートは澤田知世さんが担当しました。『オー・ソレ・ミオ』のオープニングに始まり、『セビリアの理髪師』、『ホフマン物語』、『ドン・ジョヴァンニ』、『こうもり』、『ジャンニ・スキッキ』、『魔笛』、フィナーレは『メリー・ウィドウ』から、名曲を聴くことができました。出演の皆様、フェイスガードやマスクを着用いただき、感染症対策を十分行っていただきました。また今回、コロナ禍の中、定員を上回る多くの方からご応募をいただきました。すべての方のご意向に添えませんでしたことをお詫び申し上げます。



高橋洋介さん、清水理恵さん、原田園美さん

澤田知世さん

イベント・講座等のご案内

※スケジュールが変更になった場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
初心者のための俳句教室	日常生活から暦・神羅万象を五・七・五と指折ってみませんか。あなたの一句を残しましょう。主として、俳句を始めたい方が対象です。 野崎海芋(俳人協会会員、澤俳句会同人)	4月17日・24日・5月1日・8日 各土曜日(4回) 午後1時30分～3時30分	20名	200円	3月28日(日)
正しく学ぼう！ ラジオ体操	老若男女を問わず誰でも知っているラジオ体操ですが、正しい動きでできていますか？ 軽快なリズムに合わせて、体全体の筋肉や関節をバランス良く動かし、健康長寿の元になるラジオ体操を正しく学びます。 講師：銚立和子(全国ラジオ体操連盟公認一級指導士)	5月14日・21日 各金曜日(2回) 午前10時～11時30分	20名	200円	5月2日(日)
こみゆに亭カフェ 第2弾	1部「バルーンパフォーマンスかなちゃんのトークショー」「ホルン系ハーモニカ演奏」 2部「やさしいメンタルのトーク」「参加者のフリートーク」	7月10日(土) 午後1時～3時	35名	200円	6月20日(日)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに(一人一枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ 〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 (申し込み多数の場合は抽選です。)

作品募集のお知らせ

展示作品を「杉並区にお住まい・お勤め・在学の皆さま」から広く募集します

第43回

アート展

令和3年6月12日(土)・13日(日)
開催会場：荻窪地域区民センター

昨年度の第42回アート展は2月に開催する予定で準備を進めていましたが、コロナ禍のため中止しました。

今年度につきましては、改めて、6月12日(土)・13日(日)の両日、第43回アート展として開催致します。地域の皆様、ふるってご応募ください。

応募作品(個人・グループ)

- 絵画(油絵・水彩画・日本画・デッサン等 10号以下)
 - 彫刻(木・金属・石など1m以下)
 - 工芸・陶芸・木竹工芸・彫金・染色など
 - 写真(半切以下) ● 書・短歌・俳句
 - フラワーアレンジメント ● 手芸 ● その他
- ※同一種目の出品は、原則1人1点です。



出品申込み方法

【申込書】に必要事項をご記入の上、荻窪地域区民センター内事務局へ郵送・持参・FAXにて提出してください。

【申込書】は事務局および本天沼区民集会所で配布、HPからもダウンロードできます。

申込み締切日

令和3年4月25日(日)必着

「新版 荻窪の記憶」の配布について



「新版 荻窪の記憶」の配布については、下記の通りとさせていただきます。

- 配布場所：当協議会事務局にて
- 配布日時：月曜日～金曜日の午前9時～午後5時(祝日、休館日を除く)
- 部数：原則1冊/1人です

退任のご挨拶

前会長 檜枝光太郎



「みなさまとともに活気のある楽しい地域づくりを目指します」と「わたしのおぎくぼ」2019年4月・5月号で会長就任挨拶をいたしました。地域の皆様のご支援をいただき、協議会委員の協力を得て、この観点から従来の企画を見直して充実を心がけました。また新企画として、食を介した地域作りを目指した「こみゆに亭」、その喫茶バージョンの「こみゆに亭カフェ」を始めました。

残念ながら、2020年度は新型コロナウイルス感染症蔓延のため、十分な活動ができませんでした。ここ当面、「Withコロナ時代」として、もろもろのガイドライン等を遵守して感染予防対策をして、可能な協議会活動を続けるしかありません。この新しい時代に対応するために、区民センター協議会が担うべき役割の再検討が迫られていると感じています。新体制で適切な対応がなされるでしょう。

新型コロナウイルス感染症の先行きはいまだに不透明ですが、地域の皆様のご支援とご協力の下で、荻窪地域区民センター協議会のさらなる発展を祈っております。

新規発行物のお知らせ



活動報告(隔年発行)21号

●A4判 ●12ページ

令和元年度・2年度(2年間)の当協議会の活動の集大成です。冊子にまとめました。



協議会紹介リーフレット

●A4判の三つ折り方式

当協議会の活動紹介です。コンパクトにまとめました。

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

定期総会の日程

4月21日(水) 午前10時～11時 会場：第1・2集会室
議題：令和2年度事業決算報告
令和3年度事業計画案と予算案
その他の事項

委員会の日程

4月27日(火) 午後1時～ 会場：第1・2集会室
5月25日(火) 午後1時～ 会場：第1・2集会室
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。